

りゅうぎん ユイマール助成会より NPO法人へ助成金を贈呈



「プロミスキーパース」贈呈



「マングロープ」Eクラブへ贈呈

りゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行は、2009年3月、派遣契約を打ち切られた元派遣社員や路上生活者を支援しているNPO法人プロミスキーパースに対して100万円の助成金を贈呈しました。NPO法人プロミスキーパースは、元派遣社員や路上生活者を同団体の施設（ホームレス自立支援施設エデンハウス）に無償で受け入れ就労支援をしており、助成金は就労のための資格取得や免許取得費用として活用

されます。また、うるま市でマングロープの保全に取り組んでいるNPO法人マングロープEクラブに、50万円の助成金を贈呈しました。NPO法人マングロープEクラブは、うるま市洲崎で活動を通じた環境教育に取り組んでおり、この助成金は、環境学習シユニアリー（中学、高校生）の育成費用として活用されます。

琉球ゴールデンキングス 試合観戦 チケット を贈呈

りゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行は、2009年4月、プロスポーツを観戦する機会の少ない小規模施設の通所者への支援を目的に、沖縄のプロバスケットボールチーム「琉球ゴールデンキングス」のリーグ最終戦（4月25、26両日）の観戦チケット500枚を沖縄県社会福祉協議会ならびに財団法人沖縄県セルブセンターへ贈呈しました。

贈呈式にはキングスの金城選手と山城選手も参加し、「ファンを元気にするプレーをしたい」と健闘を誓いました。チケットは同協議会ならびにセンターを通して県内の障害施設および小規模作業所へ配布されました。リーグ最終戦となった2試合は、招待された皆さまの応援の成果もあり、琉球ゴールデンキングスが優勝を収めました。



↑観戦チケット500枚を県社協、県セルブセンターへ贈呈



←試合会場内に設置された授産施設の商品販売ブース

参考
**りゅうぎん
ユイマール助成会**
「りゅうぎんユイマール助成会」は、1993年（平成5年）6月に当行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役員に寄付金を募り、さらに同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役員から300万円が集まった場合、銀行も300万円を拠出し、合計600万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会は、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立から2009年5月までの助成実績は、281件の1億2,447万円となりました。

公益信託 「宇流麻福祉基金」 6団体に 294万円助成

琉球銀行は、2009年3月6日、第14回公益信託「宇流麻福祉基金」の助成先6団体に助成金を授与しました。

同基金は、県外在住の源河朝明氏が故郷沖縄の福祉活動に役立てるため基金を設立したもので、琉球銀行は信託代理店としてその運営に携わっています。今回は、商品企画、販売を通して障害者の就労を支援している団体、精神障害者の社会復帰や地域の家族会を育成している団体、青少年の健全育成と高齢者や障害者を支援する団体、福祉イベントを通じた高齢者の生きがいづくりとボランティアリーダーを育成している団体、NGO・NPOの活動を支援している団体、障害者とその家族を支援し安心して楽しく暮らせる街づくりを目指す団体へ総額294万円を助成しました。

←闘志を燃やす選手達

参考
公益信託
琉球銀行は、公益信託代理店として、社会福祉活動にかかわる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の運営に携わっています。「宇流麻福祉基金」は源河朝明氏より委託を受けた公益信託として1996年12月に設立され、沖縄県で社会福祉活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」は1998年11月に設立され、那覇市を中心に県内の社会福祉にかかわる活動をしている法人団体に対する助成を目的としています。



「宇流麻福祉基金」助成金授与式